



Association for Corporate Support of the Arts
社団法人 企業メセナ協議会

メ
セ
ナ

MECENAT AWARDS 2005

ア
ワ
ー
ド



メセナ アワード 2005

企業メセナ協議会では、
1991年に「メセナ大賞」を創設し、
企業や企業財団による
優れた芸術文化支援（メセナ）活動を
顕彰してまいりました。
2004年度からは、
2つの部門からなる
「メセナ アワード」と改定し、
芸術文化振興に高く貢献した活動を
「メセナ大賞部門」にて、
また、社員や家族の文化力を高める活動を
「文化庁長官賞部門」にて表彰しています。

メセナアワード2005 トロフィー

受賞企業には、表彰状とトロフィーを贈呈します。



光のトロフィー

LEDが発光しながら回転すると、
光の残像現象により立体的な形が浮かびあがる。

ステンレス、LED、アクリル、
ポリエステル樹脂、モーター 他
35×φ12.5cm

トロフィー制作

篠田 太郎 (しのだ・たろう)

1964年、東京生まれ。造園家、グラフィックデザイナーを経て1995年より美術作家として活動。
科学や哲学のアイデアを独自の解釈でアートに展開している。

制作コンセプト ●50年前、電子の構造が明らかになったとき、世間は「なんの役にたつのか?」と
問いました。応用科学と違って基礎科学はロングタームで物事を考えるので、すぐに実用に役立
つものではない。しかし後世の人類にとって莫大な価値を生む——これは宇宙科学研究所の
川博士の話ですが、文化にもあてはまる考え方のような気がします。企業のメセナ活動は、遠い将来
に必ず利益をもたらすことにつながると信じます。今回のトロフィーは、時空間の基準となる〈光〉
をテーマにしました。これはメセナが、文化の基礎を発展させる光となることを願うものです。

トロフィーの制作者は、東京オペラシティアートギャラリーの堀元彰氏にご協力いただき、
指名コンペティションを実施して選びました。

ごあいさつ

企業メセナ協議会は、本年、設立15周年の節目を迎えました。私どもの顕彰事業として1991年に創設された「メセナ大賞」も、昨年より文化庁との連携のもと「メセナ アワード」と改定し、今回で15回目を数えます。

このたびの「メセナ アワード2005」では、芸術文化の振興に高く貢献したメセナ活動を「メセナ大賞部門」にて9件、社員やその家族の文化力を高める活動を「文化庁長官賞部門」にて1件、選ばせていただきました。受賞される企業ならびに企業財団の皆さま、誠におめでとうございます。また、ご応募ならびにご推薦を賜りました方々に厚くお礼申し上げます。

今回も全国より、多彩な活動をお寄せいただきました。いずれの活動も各社の創意工夫に満ちたもので、多くの企業が芸術文化を取り巻く環境を豊かにすべく努めておられることに感銘を受けました。なかでも、地域の発展をめざした市民との協働や、その企業ならではの資源を活かした支援、福祉など他の領域にわたる試みなどは、昨今のメセナの広がりを感じさせるものです。また「メセナ」という概念が定着する遥か以前から継続されてきた活動も多くあり、長年の取り組みにあらためて敬意を表したいと思います。

さらに「文化庁長官賞」においては、社員一人ひとりが主体的に芸術文化に関わる機会を設けている好例が多く、こうした取り組みが企業文化の醸成につながることで大きな期待を寄せるものです。

3年の任期にわたりお務めいただきました審査委員の皆さまには、毎回、数多寄せられる案件をつぶさに検討いただき、真摯な議論を尽くしていただきました。皆さまのご尽力に心よりお礼を申し上げます。

今後も、企業メセナのうねりを大きなものにすべく活動を展開してまいりますので、皆さまのいっそうのご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

社団法人 企業メセナ協議会
会長・理事長 福原義春

審査委員

池上 惇(いけがみ・じゅん)

京都橘大学文化政策学部教授、京都大学名誉教授。経済学博士。文化経済学会元会長。日本財政学会顧問。研究領域・固有価値と創造都市。
主著に「文化経済学のおすすめ」、「生活の芸術化—ラスキン・モリスと現代」、「情報社会の文化経済学」、「現代のまちづくり(共著)」(91~2000年、丸善)。
『財政思想史』(99年、有斐閣)、『文化と固有価値の経済学』(2003年、岩波書店)。

柏木 博(かしわぎ・ひろし)

デザイン評論家、武蔵野美術大学教授。
思想理論を基盤として、インダストリアル・デザインから都市・テクノロジー批評などを幅広く論じる。大学では近代デザイン史を指導。著書に、『デザインの20世紀』(92年)、『ユートピアの夢』(93年)、『家事の政治学』(95年)、『芸術の複製技術時代』(96年)、『モダンデザイン批判』(2002年)ほか。

南條史生(なんじょう・ふみお)

森美術館副館長。国際交流基金、ICA ナゴヤ ディレクター、ナンジョウアンドアソシエイツを経て現職。「ヴェニスビエンナーレ」日本館(97年)、「台北ビエンナーレ」(98年)。「横浜トリエンナーレ2001」をはじめ国内外で数多くの展覧会を手がける。
現在は2006年9月開催予定の第一回「シンガポールビエンナーレ」のアーティストティックディレクターとしても準備中。自治体や企業による公募展、アーティスト・イン・レジデンスなどの審査委員も歴任。国際美術評論家連盟(AICA)副会長、国際美術館会議(CIMAM)評議員。

松岡和子(まつおか・かずこ)

演劇評論家、翻訳家。日本シェイクスピア協会会員、国際演劇評論家協会会員。
95年、第2回湯浅芳子賞(海外戯曲翻訳部門)受賞。
著書は、『すべての季節のシェイクスピア』(93年)、『快読シェイクスピア』(99年)、『シェイクスピア「もの」語り』(04年)など。現在シェイクスピアの戯曲全作品を翻訳・刊行中。既刊は『ハムレット』など13本。

森まゆみ(もり・まゆみ)

作家、谷根千工房主宰、東京国際大学教授。出版社で企画・編集に従事した後、フリーに。
84年に地域雑誌「谷中・根津・千駄木」(通称「谷根千」)を創刊。愛読者を集める。
『隅外の坂』で97年度芸術選奨文部大臣新人賞受賞。92年、サントリー地域文化賞、99年、日本建築学会文化賞受賞。ほかに『一葉の四季』(01年)、『東京遺産』(03年)、『影義隊遺聞』(04年)など。

渡辺 裕(わたなべ・ひろし)

東京大学大学院教授、美学芸術学を教える。
玉川大学、大阪大学、東京大学各助教授を経て96年より現職。著書『聴衆の誕生』(89年)にてサントリー学芸賞、『日本文化モダン・ラブソング』(02年)にて芸術選奨文部科学大臣新人賞受賞。ほかに『文化史のなかのマーラー』(90年)、『音楽機械劇場』(97年)、『宝塚歌劇の変容と日本近代』(99年)など。

福原義春(ふくはら・よしはる)

(株)資生堂名誉会長。(社)企業メセナ協議会会長・理事長。
企業の社会貢献、文化へのパトロネージュに関心が高く、現職のほかに東京都写真美術館館長も務める。フランスよりレジオン・ドヌール(グラン・トフィシエール)受章。主な著書に『企業は文化のパトロンとなり得るか』(90年)、『文化資本の経営』(99年)、『メセナの動き メセナの心』(2000年)。

※文化庁長官賞の選考には、文化庁担当者が審査会に加わりました。

選考経過

15回目を迎えた「メセナ アワード2005」は、「メセナ大賞」と「文化庁長官賞」の2部門ともに目薦・他薦による応募方式を採用し、4月上旬より5月末にわたって案件を募集しました。「メセナ大賞部門」には104件(88団体)、「文化庁長官賞部門」には38件(36団体)のご応募をお寄せいただきました。これらの案件について、協議会会員からなる大賞部会で約4ヶ月にわたる調査・取材をおこない、9月の審査会にはらせていただきました。

「メセナ大賞部門」に寄せられた案件をその目的から見ると、アーティストや芸術団体への支援、幅広い鑑賞機会の提供、地域文化の振興などにわけられますが、なかでも、あまり支援されていない分野に目を向けている案件や、市民ボランティアや地域のさまざまな団体と連携した活動が見られたのも今年の特徴でした。また、各企業の特長を活かし、自社らしい活動を推進しているところにも注目が集まりました。

審査会では、総合的な評価の高い案件と傑出した個性が光る案件とを勘案しつつ選考が進められました。その結果、メセナ大賞を受賞された(株)三越については、日本初の百貨店として逸早く芸術・文化事業を展開し、長年にわたり文化の普及に努めてきた功績が高く認められました。その他の活動については、特に評価された点を賞の名前に反映しておりますが、今回は特別に、複数企業が連携した活動を奨励する意を込めて「審査委員奨励賞」を設けさせていただきました。

また「文化庁長官賞部門」の審査においては、社員やその家族への影響力、地域での認知度の高さ、活動の発展性・独自性といった点が重視されました。このたび受賞された(株)損害保険ジャパンについては、社員の自主的な社会貢献活動を促す仕組みが、各地で大きな成果を挙げている点が評価されました。

なお、惜しくも受賞に至らなかったなかにも優れた活動が多くあり、今後のさらなる充実と発展を期待したいと思います。

社団法人 企業メセナ協議会
大賞部会

メセナアワード2005 受賞企業・活動の紹介

紹介ページ

メセナ大賞部門

メセナ大賞 **株式会社三越** p06

日本橋三越本店を中心とした芸術・文化事業の展開

アートスタイル経営賞 **株式会社板室観光ホテル大黒屋** p08

自然と現代アートを融合させた斬新な旅館経営

児童文化賞 **株式会社イトーヨーカ堂** p10

子ども図書館の運営と「小さな童話」大賞の実施

服飾文化賞 **財団法人京都服飾文化研究財団** p12

「COLORS ファッションと色彩
VIKTOR&ROLF&KC」展の開催

市民文化賞 **株式会社信濃毎日新聞松本専売所** p14

劇場「ピカデリーホール」による映像と
舞台芸術活動への支援

文化財保存賞 **財団法人住友財団** p16

国内外の文化財維持・修復事業助成

アート情報文化賞 **大日本印刷株式会社** p18

ウェブサイト「DNP Museum Information Japan
アートスケープ」の運営

地域文化賞 **田苑酒造株式会社** p20

「田苑酒蔵サロンコンサート」の実施

審査委員奨励賞 **株式会社崎陽軒、ほか8団体**※ p22

「大倉山水障コンサート」の継続的な運営支援

※財団法人アサヒビール芸術文化財団、大倉山商店街振興組合、
タカナシ乳業株式会社、パナソニックモバイルコミュニケー
ションズ株式会社、財団法人はまぎん産業文化振興財団、
富士食品工業株式会社、矢島邦茂法律事務所、株式会社有隣堂

文化庁長官賞部門

文化庁長官賞 **株式会社損害保険ジャパン** p24

アートを活かした地域活動
- 損保ジャパン 東郷青児美術館 / 人形劇「稲むらの火」

メセナ大賞



開設以来、78年の歴史を経てきた三越劇場

株式会社 三越

日本橋三越本店を中心とした芸術・文化事業の展開

江戸の呉服店・越後屋から創業し、1904年に「デパートメントストア宣言」を掲げて設立した三越は、同年、「光琳遺品展覧会」を開催。日本初の百貨店における最初の文化展である。1914年には日本橋に店舗を建設。「今日は帝劇、明日は三越」と謳われるように、商品だけでなく娯楽や文化、新たなライフスタイルを提案してきた。

1927年、関東大震災による修築工事にあわせて本店6階に三越ホールを開設。ステンドグラスや大理石を用いた欧風の劇場空間が誕生した。大戦を経て「三越劇場」と改称。戦災で歌舞伎座はじめ多くの劇場が焼失したなかで「三越歌舞伎」を上演し、これまで若手役者の登竜門として44回の公演を重ねてきた。

ほかにも50年以上続いている定例の催しでは、古典芸能の重鎮が登場する「三越名人会」が609回、「三越落語会」が527回、「三越邦楽会」が115回を数える。また、俳優座、民芸による演劇やファミリーミュージカルなど、幅広い客層に向けた演目もおこなっている。一方で文化展は、本店7階の催事場をギャラリーにして、多彩な内

容で展開してきた。公立美術館に巡回する企画から小規模なものまで年間約50本もの展覧会が開催され、総来店者数の約1割の集客を誇っている。なかでも、1914年から続く春の「院展」と、毎年秋に開催の「日本伝統工芸展」は定番企画である。「日本伝統工芸展」は1954年、文化庁からの依頼を受けて開始。現在では工芸7部門からなる最大規模の公募展となり、人間国宝から新鋭作家まで選りすぐりの作品が一堂に会する。

2004年、設立100年を記念して新館が竣工され、文化展がより整備された環境で通年開催できるスペースも設けられた。長年にわたる活動が日本の文化状況に果たした功績は大きく、このたびの受賞となった。

2005年秋に開催された「第52回日本伝統工芸展」



評価ポイント メセナの先駆けとして、「文化」を百貨店のアイデンティティに据えて活動を継続してきた。美術館や劇場のない時代に、広く芸術文化を普及する役割を担った。

企業プロフィール (2005年2月現在)

本社所在地 東京都中央区

業種 小売業

設立年 1904年

資本金 374億円406万円

従業員数 7,904人

URL www.mitsukoshi.co.jp

アートスタイル経営賞



株式会社 板室観光ホテル大黒屋

自然と現代アートを融合させた斬新な旅館経営

那須連山の麓を流れる那珂川沿い、山峡の静寂に包まれた板室温泉郷は、古くから「下野の薬湯」と称される湯治の里である。この素朴な温泉郷で450年以上の営みを続ける大黒屋は、ここ数十年「保養と展示の宿」をキャッチフレーズに、現代アートから発想する旅館経営に取り組んでいる。

現社長の室井俊二氏が家業を継いだのは1986年。老舗旅館に新たな息吹をもたらそうと、「アートのある風景」を理念に掲げて、湯治客中心の経営から脱却する方向性を目指した。まず手掛けたのは、逗留客向けの保養マンションの建設と4棟からなる本館の改修である。これに先駆けて社長自らが銀座の画廊をまわり、感性に訴えかけてくる作品を求めた。結果、村井正誠、菅木志雄、渡辺豊重ら現代美術の大家たちと出会うこととなり、建物を含む空間全体をアーティストとともに構想していった。

本館正面の庭は菅が手掛け、館内サロンや廊下にはレリーフが掛けられた。屋根の上にも、雪止めの機能をもつ小さな作品群が置

かれています。裏庭には渡辺のユーモラスな彫刻作品があり、中庭には杉浦康益の陶の作品が立ち並ぶ。ロビーや客室には村井の版画や水彩作品が配され、季節ごとに展示替えをして宿泊客の目を楽しませている。

また、マンション併設のギャラリー大黒屋や器のギャラリーでは、若手作家を中心に個展を開催。本館サロンでは、毎月26日に「音を楽しむ会」と題したミニコンサートを開き、「金継ぎの会」や「黄土染めの会」といった創作体験ができる企画も定期的におこなっている。

室井社長は旅館経営を自らのセンスを提示することだと考えている。他の旅館にはない大黒屋独自の感性を磨くうえで、現代アートの独創性や革新性、知的好奇心を喚起する力に学ぶことは多い。ますます魅力的な旅館経営が期待されている。

雪景色に映える渡辺豊重作品



評価ポイント 古い温泉旅館が現代アートの発想を経営センスに取り入れて顧客を集めている。大黒屋の存在が、地域の魅力を高めることにつながるのではないかという展望がある。

企業プロフィール (2005年3月現在)

本社所在地	栃木県那須塩原市	資本金	2,000万円
業種	サービス業	従業員数	50人
設立年	1952年	URL	http://business1.plala.or.jp/daikoku

児童文化賞



株式会社イトーヨーカ堂

子ども図書館の運営と「小さな童話」大賞の実施

イトーヨーカ堂が、店舗の一角に「子ども図書館」を設けたのは1978年、静岡の沼津店が最初である。現地に進出するにあたりリサーチをしたところ、近辺に図書館がないことがわかり、子ども連れの母親が客層に多いこともあって構想が浮上した。

実現に向けては、(株)童話屋の全面的な協力を得て運営業務を委託。書架を特注するなど、子どもの目線で配置された居心地のいい図書館を目指した。棚に並ぶのは、絵本や童話の類から科学や郷土の歴史など、幼児から中学生までを対象を選ばれた本が約8,000冊。利用者登録すれば誰でも閲覧・貸出しができる。スタッフとして専任の司書が勤務しており、読み聞かせの会や工作会なども随時開催。そのほか、幼稚園や学級文庫に本や人形劇セットを無料で貸し出すなど、地域に根付く継続的な活動をおこなっている。沼津店の成功を受けて、その後も安城店や秋田店など全国11店舗で開設。いまや全館の登録者数は37万人、本の貸出しは累計914万冊にもなっている。

もうひとつの「小さな童話」大賞は、1983年に毎日新聞社との

共催によりスタートした童話コンクールである。当初は「童話で母と子の心の結びつきを育む」という趣旨で、女性に限って作品を募っていたが、第21回から男性にも門戸を開き、2004年で22回を数える。昨年は約5,400編の応募があり、そのなかから大賞1編、選者賞4編、佳作5編、奨励賞2編を選出。大賞作品は毎日新聞に掲載されるほか、入賞作品とともに冊子にまとめられる。また作品募集期間中には、4名の選者（落合恵子、角野栄子、山本容子、俵万智）による「童話サロン」が各地で開催され、童話創作に挑む多くの人を励ましている。

店舗を拠点に展開する両活動が子どもを取り巻く環境を豊かなものにした功績は大きく、さらなる充実が期待される。

第22回受賞者表彰式



評価ポイント 専任の司書を置き、図書貸出しや読み聞かせなど地域に根ざした活動を継続している。童話サロンや作家の輩出につながるなど、コンクールとしての成果をあげている。

企業プロフィール (2005年3月現在)

本社所在地 東京都千代田区
業種 小売業
設立年 1958年

資本金 479億円
従業員数 48,208人
URL www.itoyokado.co.jp

服飾文化賞



© 京都服飾文化研究財団 撮影/高山直哉

財団法人 京都服飾文化研究財団

「COLORS ファッションと色彩：VIKTOR & ROLF & KCI」展の開催

京都服飾文化研究財団（KCI）は、西欧の歴史的な衣装および関連資料・文献を体系的に収集し、研究、公開する機関として、1978年、ワコールの出捐により設立された。

17世紀以降の西欧衣装を中心に近・現代のモードを含めて集めており、2004年までに服・アクセサリ類11,196点、文献資料13,845点を有する。この世界的に見ても貴重なコレクションの公開と研究成果の発表の場として、数年に一度、大規模な展覧会を企画しており、これまでも国内の美術館で開催した後に、海外の美術館からも招かれて巡回し、高い評価を得てきた。

2004年、京都国立近代美術館と森美術館（東京）にて開催された「COLORS ファッションと色彩：VIKTOR & ROLF & KCI」展は、ファッションにおける「色彩」に焦点をあて、作品収集と研究に5年の歳月をかけて開催に至ったものである。17世紀から現代までの衣服と色彩の関係を見つめ直し、その背景にある社会的要因や時代の文化を検証することをめざした。

ゲストキュレーターに、現在もっとも注目されているオランダの2人組デザイナー、ヴィクター&ロルフを迎え、彼らが色彩に特化して発表したコレクション・ショーの映像と作品を数点、KCIの所蔵品から選んだ衣服を中心に計87点を展示。黒、マルチカラー、青、赤と黄、白の5つの主題色によるセレクションで会場を構成した。会期中には、専門的なセミナーや講演会を開催するほか、草木染め体験など一般の人が参加しやすいイベントも実施。さらに京都展では小学校の授業として、子ども達のデザインによるファッションショーをおこなうなど、幅広い層に衣服と色彩の魅力を伝えた。

ファッションを現代の芸術文化として捉え、充実した活動を継続してきたKCIのひとつの成果として評価された。

京都展での小学生によるファッションショー



評価ポイント 世界的にも希少価値の高いコレクションを有し、その蓄積と研究のうえに展覧会を構成している。現代的で国際的な視点からの企画であり、教育普及にも力を入れている。

財団プロフィール(2005年3月現在)

財団所在地 京都府京都市
 設立年 1978年
 正味財産 23億5,301万円

職員数 16人
 URL www.kci.or.jp

市民文化賞



地元劇団の公演

株式会社 信濃毎日新聞松本専売所

劇場「ピカデリーホール」による映像と舞台芸術活動への支援

長野県松本市の旧市街地・上土通りに、かつて市民の娯楽を支えた映画館が数軒ある。このうちのひとつ、廃業した映画館ピカデリーの土地と建物を信濃毎日新聞松本専売所が買い受けたのが1999年。社長の西堀恒司氏は、87年に始まった「松本演劇フェスティバル」（現・まつもと演劇祭）の中心メンバーであり、「演劇文化を育てて地域に貢献したい」と、この映画館を劇場「ピカデリーホール」に改めて運営に乗り出した。

施設の補修・改装は、地元演劇人や市民のボランティアの手でおこなわれた。映画スクリーンはそのままに、もと1階の部分に舞台を設置、2・3階席をベンチシートに取り替えて240の客席を設えた。照明や音響などの機材は近隣の廃校や閉鎖した公民館から譲り受けるなどし、充実した小劇場空間に生まれ変わった。

以来、地元からは「自分たちの劇場」として愛され、演劇や映画、コンサートなど、年間約30公演・100ステージに使われている。また、ホール主催の演劇教室や、社員が企画する映画会もおこなわれて

いるほか、コミュニティシネマ「松本シネマセレクト」や、秋の「まつもと演劇祭」の拠点として大いに活用されている。

ピカデリーホールが支持されるもうひとつの理由は、利用者の使いやすさを最優先した運営にある。公演の一週間前からホールでの稽古が可能で、連日深夜まで舞台づくりができる。備品使用料は原則無料、ホール使用料も相談に応じてくれ、劇団はその分を公演の充実にあてられる。そのかわり、使用期間中の一切の管理責任は、使用者側に委ねられる。

2005年春、劇場支配人として、松本出身で東京の小劇団で長年活躍してきた堀内博氏が着任した。氏を迎えて、ますます活発なホール運営が期待されるどころだ。演劇創造の拠点として熱い期待が寄せられている。

市民が創る舞台空間



評価ポイント 「演劇の松本」を支える創造拠点として、地元企業が市民とともに運営している。まつもと市民芸術館との連携による地域の文化振興に期待したい。

企業プロフィール (2005年3月現在)

本社所在地 長野県松本市

業種 小売業

設立年 1964年9月

資本金 1,000万円

従業員数 120人

URL www.matusen.co.jp
[劇場] www.matusen.co.jp/pica

文化財保存賞



宝誌和尚像／木造、平安時代、西往寺(京都)

財団法人 住友財団

国内外の文化財維持・修復事業助成

住友財団は1991年、住友グループ20社の基金拠出により設立された多目的の助成財団である。基礎科学研究や環境研究などへの助成とともに、国内外の文化財維持・修復事業助成に取り組んでいる。とりわけ文化財の維持・修復に対する助成については他にも類がほとんどなく、同財団の特徴的な事業に位置づけられている。

国内では、芸術的・学術的に価値があり、後世に継承すべき美術工芸品（絵画、彫刻、工芸品、書跡、典籍、古文書、考古資料、歴史資料）を対象に公募している。申請者は全国の寺社や博物館がほとんどで、国の重要文化財や自治体の有形文化財に指定されながらも、修復費の自己負担分が大きいために着手できずにいるという案件が多い。選考に際しては、文化財としての重要性や修復の緊急度などから検討しており、京都・西往寺の宝誌和尚像のように、この助成による修復を経た後に、重要文化財に指定されたものも幾つかある。ほかにも、日光輪王寺家光廟の秘仏・釈迦三尊像など、欠損が著しかった貴重な文化財が各地で蘇り、一般に公開されて人々の耳目を

集めている。

海外については、美術工芸品と遺跡の維持・修復およびその事前調査を対象としている。各国の東洋美術館にも呼びかけ、大英博物館の伝・歌川豊春筆の六曲屏風などの日本美術品について、日本での修復や現地に技術者を派遣しての修復作業を助成してきた。また、アンコール遺跡やベトナム・ホイアンの町並みなど、現地との共同チームによる調査研究・保存・修復作業を助成しており、これまでにアジア、アフリカ、ヨーロッパ、中南米の21ヶ国で実績を残してきた。

財団設立以来14年間の助成件数は、国内209件、海外43件、金額にして9億5,500万円余におよぶ。地道な助成事業ながら、年々認知が高まり、応募案件も増加している。

大英博物館所蔵の伝・歌川豊春筆 六曲屏風



評価ポイント 公的補助も充分でなく民間助成も少ない分野に注目した、意義深い取り組みである。海外の美術工芸品や文化遺跡にも範囲を広げており、予算規模も大きい。

財団プロフィール (2005年3月現在)

財団所在地	東京都港区	職員数	8人
設立年	1991年	URL	www.sumitomo.or.jp
正味財産	199億7,125万円		

アート情報文化賞



大日本印刷株式会社

ウェブサイト「DNP Museum Information Japan アートスケープ」の運営

美術情報専門のウェブサイト「アートスケープ」は、大日本印刷が1993年から始めた美術館メディア研究会を機にスタートした。日本におけるインターネットの黎明期から10年余にわたり、美術に特化した老舗のウェブサイトとして情報の拡充に努めてきた。

「アートスケープ」のコンテンツは4部門で構成される。①美術館の展覧会情報を中心に、全国の学芸員のレポートや美術ジャーナリストによる批評などを掲載する「展覧会情報」。②旬のアートスポットや美術館のIT関連情報を提供する「アートレポート」。③美術関連用語の解説やデジタルアーカイブ用語集をはじめ、全国1,300館を超える美術館データベースを網羅した「アートライブラリー」。④読者の投稿による展覧会情報や、美術展の招待券などをプレゼントする「読者コーナー」。

原則として月2回の情報更新とともに、約5,000人の読者にメールマガジンを配信。美術情報を多面的かつ集約的に紹介するサイトとして、美術関係者やアートファンをはじめ多くの人々に支持さ

れ、月間のアクセス数は100万を超える。特に「全国ミュージアムデータベース」は、全国の美術館サイトへのポータルとして利用されており、「現代美術用語集」もネットならではのコンテンツとして高く評価されている。

インターネットが飛躍的な進化を遂げてきたこの間、アートイベントの動画中継や、メディアアーティストに表現の場を提供するなどの試みにも取り組んできた。今後、ブロードバンド環境に即した情報提供の方法を模索するとともに、日本の総合的な美術情報サイトとして、海外からのアクセスへの対応を充実させていく方針である。

社会の変化に逸早く応じて、アートとインターネットの新たな可能性を探り、情報を発信してきた「アートスケープ」、これからの展開にも期待したい。

「展覧会情報」ページ

The screenshot shows the website interface with a navigation bar at the top and a main content area titled "展覧会スケジュール:" (Exhibition Schedule). The schedule is organized by region:

地域	展覧会スケジュール	連絡先
北海道		
東北	青森 岩手 宮城 秋田 山形 福島	
関東	東京	相田みつを美術館 Tel. 03-6212-3202 (テレフォンガイド)
北関東	茨城 栃木 群馬	かんの人展 相田みつをが愛した広場たちへ 9月4日～2006年1月22日
南関東	神奈川 埼玉 千葉	鎌倉美術館 Tel. 05-3821-4549
甲信越	山梨 長野 新潟	鎌倉美術館 相田みつを展 10月1日～11月6日
北陸	富山 石川 福井	下町風俗資料館 Tel. 05-3823-7451
東海	愛知 岐阜 静岡	新築60年一戦争と子どもたち 10月1日～2006年1月29日
京阪神	大阪 兵庫 京都	堺区立堺土蔵資料館 Tel. 05-5999-0081
近畿	奈良 和歌山	堺を愛した子どもたち 10月9日～12月4日
中国		堺区立美術館 Tel. 05-3977-1000 (テレホンサービス)
		堺区立美術館 9月17日～10月23日

評価ポイント 時代に先駆けてアート情報の専門サイトとして開設し、幅広い情報量を誇る。月間100万のアクセスがあるなど、日本のいまの美術状況の紹介に大きな役割を果たしている。

企業プロフィール(2005年3月現在)

本社所在地	東京都新宿区	資本金	1,144億6,400万円
業種	印刷業	従業員数	9,013人
設立年	1876年	URL	www.dnp.co.jp/artscape

地域文化賞



第26回コンサート／フルートトリオ「わらく」

田苑酒造株式会社

「田苑酒蔵サロンコンサート」の実施

「ベートーヴェンの<田園>を聴いて、おいしく育った本格焼酎・田苑」。鹿児島市内から北西に車で約50分、山間にのどかな風景が広がる樋脇町に田苑酒造はある。明治23年に創業した焼酎メーカーで、主力商品の樽貯蔵麦焼酎「田苑」は、原酒の入った榎樽にトランスデューサー（音楽振動変換装置）を取り付け、クラシック音楽の振動を伝えて熟成させている。1991年にこのシステムを導入して以来、工場には24時間クラシック音楽が流れるようになった。

「田苑酒蔵サロンコンサート」は92年にスタート。会場は工場に隣接する古い酒蔵（1776年建造）で、日頃は「焼酎資料館」として昔の焼酎づくりの道具や古文書など1,400点を展示している。ここで春と秋の年2回、日曜日の午後にコンサートが催される。

出演者は鹿児島出身の若手演奏家を中心に、デュオやトリオの構成が中心だ。企画は社員自らがさまざまなコンサートに足を運び出演交渉していたが、回数を重ねるうちに、地元のファンがアーティストを推薦したり、かつての出演者が音楽仲間を引き連れてくるな

ど独自のネットワークができてきた。

酒蔵独特の空間は350人も入れれば満員だが、ステージと客席が一体となった和やかな雰囲気醸し出される。前日から社員総出で道具や資料を片付け、椅子を並べて会場づくりをする。当日も会場整理から受付、司会まですべて社員で分担。コンサートは昼過ぎのスタートだが、開演2時間前からお客さんは集まってくる。そこで工場見学や焼酎の試飲を案内し、休憩時間には、春はもろみを使った菓子、秋は焼酎の原料であるふかし芋を振る舞う。

すべてが手づくりのコンサートは、地域の恒例イベントとして定着し、リピーター率は8割を超えるという。これからも田園風景の広がる地域に、美しい調べを鳴り響かせてほしい。

コンサート会場となる古い酒蔵



評価ポイント 自社がもつ施設を活かし、社員が一丸となって企画から運営まであたっている。地域の人々が心待ちにする催しとして定着し、音楽ファンにも支持されている。

企業プロフィール(2005年3月現在)

本社所在地	鹿児島県薩摩川内市	資本金	2億4,400万円
業種	本格焼酎製造・販売	従業員数	126人
設立年	1890年	URL	www.denen-shuzo.co.jp

審査委員奨励賞



株式会社 崎陽軒 ほか8団体*

「大倉山水曜コンサート」の継続的な運営支援

「大倉山水曜コンサート」は、横浜市の指定有形文化財である大倉山記念館で、毎週水曜日の夜に開催される音楽会である。大倉山公園の中にあるギリシャ神殿風の瀟洒な建物は、1932年建設、84年に市の施設として公開された。その3階にある定員80人の小さなホールで開館とともに始まったコンサートが毎週の催しとなり、いつしか「水コン」の愛称で市民に親しまれるようになった。

当初、記念館の文化事業として横浜市の主催で始まったコンサートは、一年後、すべての運営を市民ボランティアに委ねることになる。若手演奏家に発表の機会を提供すること、市民に廉価で良質な音楽を提供すること、この目的に共感する人々が集まり、これまでのボランティア・スタッフは60名余りに及ぶ。市はホールの年間無料提供と事務局支援を担い、87年からは地元企業や商店街からの協賛を得ていくようになる。93年には、運営基盤を強固なものにすべく理事会が発足。三代目理事長を務める崎陽軒の野並豊会長は、協力支援者を束ね、堅実なサポート体制を整えている。

「水コン」は、世界的に活躍するベテランを招く企画コンサートと、登録演奏家によるコンサートのふたつの柱からなる。登録演奏家は、「音大卒業後3年以上、日常的に演奏活動をしていること」を条件に受付けており、現在600名近くの演奏家が順番待ちという状況だ。

プログラム内容は実に多彩で、クラシック音楽を中心に古楽や邦楽、ジャズや民族音楽まで、毎回バラエティーに富んだアーティストが登場、これまでの出演者は3,600人を超える。2005年5月、「水コン」は1,000回を迎えた。市民ボランティアの熱意と、企業、行政のバックアップにより継続してきた活動の、次の節目に向けた歩みはすでにスタートしている。

※他の支援団体

財団法人アサヒビール芸術文化財団、大倉山商店街振興組合、タカナシ乳業株式会社、パナソニックモバイルコミュニケーションズ株式会社、財団法人はまぎん産業文化振興財団、富士食品工業株式会社、矢島邦茂法律事務所、株式会社有隣堂

大倉山記念館



評価ポイント 市民、企業、行政が一体となった企画として地域に根ざし、長年継続している。

企業プロフィール 株式会社 崎陽軒 (2005年3月現在)

本社所在地	神奈川県横浜市	従業員数	600人
業種	食料品	URL	www.kiyoken.com
設立年	1908年		[水曜コンサート]
資本金	3億4,000万円		www.homepage3.nifty.com/ yokorale/suicon/top.htm

文化庁長官賞



株式会社 損害保険ジャパン

アートを活かした地域活動—損保ジャパン東郷青児美術館／人形劇「稲むらの火」

損保ジャパンでは、1976年に東京本社ビルに「損保ジャパン東郷青児美術館」を、89年に名古屋ビルに人形劇場「ひまわりホール」を設け、地域に開かれた文化施設として運営してきた。当初、同じビルで働く社員が美術展や人形劇を見る機会が少なかったことから、社員のための鑑賞会を実施。こうした場を通じて多くの社員が、それぞれの施設の趣旨や役割を理解し、普及活動にも協力するようになった。

また同社では93年より、社員一人ひとりの社会貢献活動を支援する「ちきゅうくらぶ」を組織している。全社員がメンバーとなって各地で自主的に活動しており、メンバーの自由意志で給料から一口100円以上の金額をファンドとして積み立てている。昨年は約1,500万円が集まり、ボランティア活動費やNPOへの寄付、災害支援等に役立てられた。

この「ちきゅうくらぶ」の発想とネットワークが、美術館やひまわりホールの活動に広がりを持たせている。美術館では、社内の手話講習会の経験を活かした「聴覚・視覚障害者との鑑賞会」を開催

したり、地元の心身障害学級の作品展を1階ロビーで実施している。一方の人形劇活動では、毎秋ひまわりホールで開催される「パペットフェスティバル」の運営をサポート。また人形劇団と協力して、障害児施設への出張公演をおこなったり、神戸で被災した子どもたちに人形劇を届けている。

こうした経験を経た社員が、静岡で地元の人形劇団13団体と連携して、津波を扱った実話「稲むらの火」の人形劇プロジェクトを企画。「ちきゅうくらぶ」のファンドで台本や人形を制作し、県内の小学校や防災センターで公演した。これが2005年の国連防災世界会議で上演されて注目を集め、後にアジア8カ国向け9言語に翻訳した絵本が製作されるなどの発展を見せた。

聴覚障害者の方との美術鑑賞会



評価ポイント 同社が従来推進してきた活動のノウハウや人脈が活かされている。社員の主体的な地域への働きかけが、世界に大きなうねりをおこした。

企業プロフィール (2005年3月現在)

本社所在地	東京都新宿区	資本金	700億円
業種	保険業	従業員数	14,705人
設立年	1944年(創業1888年)	URL	www.sompo-japan.co.jp

メセナアワード2005 応募一覧

メセナ大賞部門

(株)アーバネットコーポレーション	アート・ミーツ・アーキテクチャー コンペティション	東京
あいおい損害保険(株)	「絵で伝えよう!わたしの町のたからもの」絵画展への共催	東京
(財)愛銀教育文化財団	芸術文化活動への助成	愛知
アコム(株)	「バリアフリーコンサート」みる「コンサート物語「ピーターパン」	東京
(株)朝日新聞社	「オーケストラ・リベラ・クラシカ(OLC)」への支援	東京
(財)泉美術館	所蔵作品展、及び企画展開催	広島
(株)板室観光ホテル大黒屋	自然と現代アートを融合させた新々な旅館経営	栃木
(株)イトーヨーカ堂	子ども図書館の運営と「小さな童話」大賞の実施	東京
(株)伊予銀行	伊予銀行地域文化活動助成制度	愛媛
AIGグループ	墨田区における音楽を通じた地域貢献活動	東京
エステー化学(株)	ミュージカルの主催	東京
NECソフト(株)	「武生国際音楽祭」への協力・協賛と「武生国際作曲ワークショップ」への助成	東京
(株)NTTDコモ中国	クリスマスコンサートの主催/NPO団体との協働による「障害のある人の芸術作品展」の開催/自社ビル1階「展示コーナー」の無料開設	広島
(株)エフエム東京	TOKYO FM少年合唱団	東京
王子製紙(株)	王子ホールの運営と活動	東京
大阪商工会議所	「大阪ナイトカルチャー」事業	大阪
関西テレビ放送(株)	「ブロードバンド・アート&コンテンツアワード ジャパン(BACA-JA)」	大阪
きくや(株)	地域音楽普及活動	東京
岐阜信用金庫	クラシック音楽の演奏会ならびにフラメンコ・アルゼンチンタンゴコンサートの主催/地元ゆかりの若手芸術家への支援	岐阜
(株)岐阜文芸社	岐阜ルネッサンスクラブによる無償出版活動	岐阜
(株)崎陽軒、ほか8団体	「大倉山水曜コンサート」の継続的な運営支援	神奈川県ほか
京セラ(株)	京セラ美術館ならびに京セラファインセラミック館の運営	京都
(財)京都服飾文化研究財団	「COLORS ファッションと色彩:VIKTOR&ROLF&KCI」展	京都
近畿労働金庫	エイブル・アート近畿2005 ひと・アート・まち和歌山	大阪
(株)グリーンキャブ	マリー・ローランサン美術館	東京
(株)けいはんな及び協賛企業・団体各社	けいはんなプラザ・プチコンサート	京都
(株)神戸風月堂	風月堂ホール「ロドニー賞・神戸風月堂サロン講座・神戸風月堂朗読サロン・神戸風月堂ミュージックサロン・もともち寄席恋雅亭」ほか、協賛事業	兵庫
国際航業(株)	「文化遺産の世界」出版	東京
こども富貴堂(有)絵本屋	こども富貴堂の活動	北海道
コニカミノルタホールディングス(株)	50年間に及ぶ写真ギャラリーの運営	東京
(株)ザ・パレスサイドホテル	art in transit(アート・イン・トランジット)COM-PASS(コンパス)、ロビー・コンサート、等芸術文化活動	京都
サッポロビール(株)	混声合唱団「ガーデンプレイスクワイヤ」への支援	東京

※企業・団体名ならびに活動名は応募時点での表記に準ずる。

サントリー(株)→サントリー<キッズ・ドリームプロジェクト>	東京
三洋信販(株)→三洋信販クラシックコンサート「海の讃(うた)」	福岡
(株)ジェイティービー→地域の宝をエネルギーに変える今年100回目を迎える「社(もり)の願い」	東京
(株)信濃毎日新聞松本専売所→劇場「ピカデリーホール」による映像と舞台芸術活動への支援	長野
(株)商船三井→にっぽん丸ギャラリー	東京
真生印刷(株)→花と緑で世界を結ぶ「児童・生徒絵画コンクール」	大阪
(財)住友財団→国内外の文化財維持・修復事業助成	東京
住友生命保険(相)→「いずみホール」の運営/全国縦断チャリティコンサート/こども絵画コンクール	東京
(株)セブンイレブン・ジャパン→セブンイレブンファンタジースペシャル ブロードウェイミュージカル「ピーターパン」	東京
全国共済農業協同組合連合会→JA共済全国小・中学生書道・交通安全ポスターコンクール	東京
ソニー(株)／(財)ソニー音楽芸術振興会→子どもたちに贈るスペシャル・コンサート	東京
第一生命保険(相)→アートNPO支援による第一生命ホールの活性化	東京
大王製紙(株)→回想を取り入れた「ナトコの映画館」上映会の普及支援活動	東京
(株)第四銀行→被災地訪問コンサートの実施	新潟
大日本印刷(株)→ウェブサイト「DNP Museum Information Japan アートスクープ」の運営	東京
(株)大和証券グループ本社→ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団来日公演	東京
タリーズコーヒージャパン(株)→タリーズ・ピクチャーブックアワード	東京
中国電力(株) 中電病院→病院内のアメニティーの向上	広島
中部電力(株)→2004中部電力ショーウィンドウデザインコンペ	愛知
TOA(株)→兵庫県トライやる・ウィークにおける、「中学生による音楽創作活動」/丹波の森国際音楽祭シューベルティアアデたんば2004への音響協力	兵庫
田苑酒造(株)→「田苑酒蔵サロンコンサート」の実施	鹿児島
(財)東京オペラシティ文化財団→音楽事業(主催事業、顕彰事業、育成教育事業)/美術事業(主催事業、若手作家育成事業「プロジェクトN」)	東京
(株)東京放送(TBS)→「唐招提寺2010プロジェクト」と「唐招提寺展」	東京
東レ(株)→東レデジタルクリエイションアワーズ	東京
協同組合徳島総合流通センター→リオデ徳島音楽祭 日本音楽コンクール入賞者演奏会	徳島
凸版印刷(株)／印刷博物館→印刷博物館の運営	東京
(株)トナカイ→特定非営利活動法人NPOサロンオペラ・トナカイ	東京
トヨタ自動車(株)→トヨタ・マスター・プレイヤーズ、ウィーン/トヨタロビーコンサート/トヨタ・子供とアーティストの出会い/「全国アマチュアオーケストラに対する支援活動」/ネットTAM/創造空間プロジェクト	東京
(財)直島福武美術館→地中美術館の運営	香川
ニッセイ同和損害保険(株)→フェニックス・エヴォリューションシリーズ	東京
日本毛織(株)→ギャラリーらふと・手仕事の庭の運営	大阪
日本電気(株)→NECアート教育プログラム/NEC Navigates Japan's Classical Music Artists/全国各地でのコンサートの開催	東京
日本出版販売(株)→書店店頭での読み聞かせ会「おはなしマラソン」の活動	東京
日本生命保険(相)→舞台芸術を表と裏から支える、総合的な舞台芸術支援活動	東京

メセナアワード2005 応募一覧

日本たばこ産業(株)	・Jアートホールアフィニスの企画・運営	東京
(財)日本伝統文化振興財団	・日本伝統音楽、民俗芸能の記録、保存と振興	東京
日本ユニシス(株)	・ヴァイオリニスト川原成道氏の音楽活動支援	東京
(株)白寿生科学研究所	・Hakuju Hall 企画運営	東京
広島ガス(株)	・ROAD TO PEACE「復活」広島ホットコンサート	広島
広島信用金庫	・日本画展の開催	広島
(株)フェリシモ	・第5回 デザイン21/フェリシモハッピーイズプロジェクト/『神戸カタログ2005』発刊	兵庫
富国生命保険(相)	・フコク生命チャリティコンサート・訪問ミニコンサート	東京
(株)フジカワ画廊	・国内外の展覧会への出品協力、fujikawa gallery / nextによる作家支援	大阪
富士通テン(株)	・Kobe Music Station	兵庫
ボラスグループ	・南越谷阿波踊り	埼玉
(株)毎日新聞社	・世界初演パッパの結婚カンタータ 復元コンサート	東京
前田建設工業(株)	・障害者アートの支援	東京
松下電器産業(株)	・OBPアーツプロジェクト/子どもニュース(KWN)プロジェクト/Panasonicふれあいフェスタ	大阪
(株)松屋	・日本デザインコミッティーの活動	東京
三井広報委員会	・「ふれあいトリオ」	東京
(株)三越	・日本橋三越本店を中心とした芸術・文化事業の展開	東京
三菱地所(株)	・丸の内ストリートギャラリー	東京
(株)メディアゾーン	・「時の蘇生」柿の木プロジェクト ドキュメンタリー制作	東京
(株)メニコン	・メニコンスーパーコンサート	愛知
メルシャン(株)	・メルシャン軽井沢美術館での近現代ヨーロッパ美術の紹介	東京
ヤマハ(株)	・自由演奏会2004	静岡

文化庁長官賞部門

アコム(株)	・「バリアフリーコンサート」みる*コンサート物語「ピーターパン」	東京
(株)板室観光ホテル大黒屋	・アートスタイル経営―共鳴・共感・共進・プロセス	栃木
(株)伊予銀行	・伊予銀行地域文化活動助成制度	愛媛
AIGグループ	・墨田区における音楽を通じた地域貢献活動	東京
エステー化学(株)	・ミュージカルの主催	東京
NECソフト(株)	・東京都現代美術館の招待券活用/NECソフト管弦楽団	東京
王子製紙(株)	・王子ホールの運営と活動	東京
大阪商工会議所	・「大阪ナイトカルチャー」事業	大阪
きくや(株)	・地域音楽普及活動	東京
近畿労働金庫	・エイブル・アート近畿2005 ひと・アート・まち和歌山	大阪
(株)けいはんな及び協賛企業・団体各社	・けいはんなプラザ・プチコンサート	京都
コスモ石油(株)	・児童養護施設を対象としたアート・コミュニケーション・プログラム「コスモ絵かきっす」	東京

(株) ザ・パレスサイドホテル	art in transit (アート・イントランジット) COM-PASS (コンパス)、ロビー・コンサート、等芸術文化活動	京都
サッポロビール(株)	混声合唱団「ガーデンプレイスクワイヤ」への支援	東京
(株) ジェイティービー	地域の宝をエネルギーに変える今年100回目を迎える「社(もり)の願い」	東京
住友生命保険(相)	ランチタイムコンサート	東京
(株) 千修	千修吹奏楽チャリティコンサート	東京
(株) 損害保険ジャパン	アートを活かした地域活動-損保ジャパン東郷青児美術館/人形劇「稲むらの火」	東京
第一生命保険(相)	アートNPO支援による第一生命ホールの活性化	東京
大王製紙(株)	回想法を取り入れた「ナトコの映画館」上映会の普及支援活動	東京
タリーズコーヒージャパン(株)	タリーズ・ピクチャーブックアワード	東京
TOA(株)	創業70周年記念 全社員参加による芸術作品づくり	兵庫
(株) 東芝	東芝府中吹奏楽団による地域社会貢献活動	東京
(株) トナカイ	特定非営利活動法人NPOサロンオペラ・トナカイ	東京
トヨタ自動車(株)	トヨタロビーコンサート	東京
ニッセイ同和損害保険(株)	フェニックス・エヴォリューションシリーズ	東京
日本電気(株)	社員によって組織されたNEC玉川吹奏楽団の音楽活動	東京
日本ユニシス(株)	川島成道氏のコンサートを通じての、社員へのボランティア活動と音楽鑑賞の機会提供	東京
バイオニア(株)	身体で聴こう音楽会	東京
広島信用金庫	日本画展の開催	広島
(株) フェリシモ	チェリシモプロジェクト(1000人のチェロ・コンサート開催支援)	兵庫
富士通テン(株)	Heartful Concert (ハートフルコンサート)	兵庫
ボラスグループ	南越谷阿波踊り	埼玉
松下電器産業(株)	Panasonic ふれあいフェスタ	大阪
(株) 三越	日本橋三越本店を中心とした芸術・文化事業の展開	東京
(株) メディアゾーン	「時の蘇生」柿の木プロジェクト ドキュメンタリー制作	東京

これまでの受賞企業

2004

メセナ大賞	大日本インキ化学工業(株)	川村記念美術館の運営
現代総合芸術賞	アサヒビール(株)	NPOとの協働による「アサヒ・アート・フェスティバル」
企業理念賞	(株)希望社	本社ギャラリーの展示・コンサートなど
運営創造賞	(財)新日鐵文化財団	紀尾井ホールでの運営と公演活動など
生活文化賞	(株)鈴廣蒲鉾本店	「小さな美術展 かまぼこ板絵国際コンクール」の実施
音楽人材育成賞	住友商事(株)	ジュニア・フィルハーモニック・オーケストラの活動支援
映像開拓賞	日本ビクター(株)	「東京ビデオフェスティバル」の継続開催
児童文化賞	松下電器産業(株)	「子供のためのシェイクスピアシリーズ」公演の支援
文化庁長官賞	(株)フェリシモ	「神戸学校」の開催など

2003

メセナ大賞	(財)常陽藝文センター	郷土の芸術・文化の発掘と普及——20年目の挑戦
地域文化賞	(株)松明堂書店	松明堂ギャラリー・音楽ホールでの活動
舞台芸術牽引賞	(財)セゾン文化財団	現代演劇・舞踊への助成
芸術環境創出賞	(財)ポーラ美術振興財団	美術分野における助成事業と美術館事業の展開
新領域開拓賞	トヨタ自動車(株)	「トヨタコレオグラフィアワード」の実施
新世代支援賞	ホルベイン工業(株)	第17回「ホルベイン・スカラシップ」の実施
児童文化貢献賞	(株)ジャパンエナジー	「JOMO童話賞」の実施
継続の力賞	出光興産(株)	「題名のない音楽会」の継続提供
文化庁長官賞	(財)常陽藝文センター	「藝文友の会」を通じた常陽銀行の社員、家族に対する文化芸術に親しむ機会の提供

2002

メセナ大賞	朝日放送(株)	ザ・シンフォニーホールの運営と事業活動
企業文化賞	鹿島建設(株)	「KAJIMA彫刻コンクール」の実施
企画賞	キリンビール(株)	「キリンダンスサポート」創設に結びついた体系的な現代舞踊支援
情報発信賞	東陶機器(株)[TOTO]	ギャラリー・間の活動
奨励賞	凸版印刷(株)	コンサートホール「トツパンホール」の運営
地域文化賞	(株)飛騨匠石	祭屋台の制作および「飛騨高山まつりの森」の運営
育成賞	(株)リクルート	クリエイションギャラリー-G8とガーディアン・ガーデンの運営

2001

メセナ大賞	安田火災海上保険(株)	安田火災人形劇場「ひまわりホール」の活動
国際交流賞	(財)アサヒビール芸術文化財団	芸術系外国人留学生への支援・交流活動
企業文化賞	(株)INAX	「世界のタイル博物館」等の運営ならびに陶芸作家への支援
人材育成賞	花王(株)	美術館連絡協議会への支援
アイデア賞	カスミグループ	「くわたしの企画」応援します!の実施
地域文化賞	(株)駒形どぜう	「江戸文化道場」等の開催
バリアフリー賞	トヨタ自動車(株)	「トヨタ・エイブルアート・フォーラム」の実施
まちづくり賞	(社)浜松青年会議所	浜松交響楽団の設立と運営

2000

メセナ大賞	第一生命保険(相)	VOCA展の開催
育成賞	(財)アフィニス文化財団	日本のプロオーケストラへの支援活動
新人育成賞	沖縄電力(株)	おぎでんシュガーホール新人演奏会オーティションの実施
創造賞	キャノン(株)	キャノン写真新世紀の実施
地域賞	(株)神戸酒心館	神戸酒心館ホールの運営
組織支援賞	三洋電機(株)	大阪シンフォニカーへの支援活動
企業理念賞	日産自動車(株)	“子どもの想像力育成”に投資するメセナ活動
振興賞	日本電気(株)	NEC EARLY MUSIC SERIESの実施

1999

メセナ大賞	(株)東急文化村	複合文化施設Bunkamuraの運営
メセナ育成賞	野村證券(株)、松下電器産業(株) 日本航空(株)、トヨタ自動車(株)	パシフィック・ミュージック・フェスティバル(PMF)への協賛
メセナ企画賞	フィリップ モリス(株)	フィリップ モリス アート アワードの実施
メセナ国際賞	安田火災海上保険(株)	ゴッホ美術館新館の建築支援
メセナ奨励賞	今井書店グループ	読書と出版文化発展のための支援活動
メセナ地域賞	住友生命保険(相)	いずみホールの運営
メセナ普及賞	カルビー(株) ほか後援会加盟社	能楽研究・公演団体「橋の会」の支援

1998

メセナ大賞	朝倉不動産(株)	代官山ヒルサイドテラスにおける文化活動
メセナ育成賞	大川創業(株)	関西フィルハーモニー管弦楽団への支援活動
メセナ企画賞	九州電力(株)	若手工芸家の国内外派遣制度
メセナ国際賞	(株)ベネッセコーポレーション	直島文化村ベネッセハウスの運営
メセナ奨励賞	(株)両国シティコア	シアターXの運営
メセナ地域賞	(財)たましん地域文化財団	多摩地域における文化活動
メセナ普及賞	麒麟ビール(株)	麒麟プラザ大阪の運営

1997

メセナ大賞	主婦の友グループ	カザルスホールの運営
メセナ育成賞	東京ガス都市開発(株)	パークタワー・アートプログラム ダンスシリーズの実施
メセナ企画賞	松下電器産業(株)	阪神アートプロジェクトへの支援
メセナ国際賞	在日タイムラー・ベンツグループ	タイムラー・ベンツグループ アーホープ ガスローニウムによるアート・ガラリーの難
メセナ奨励賞	(株)ローザ	斎藤記念川口現代美術館の運営
メセナ地域賞	(株)みちのく銀行	ドキュメンタリー映画「サワダ SAWADA」の制作
メセナ普及賞	六花亭製菓(株)	十勝に根ざした芸術文化活動

これまでの受賞企業

1996

メセナ大賞	アサヒビール(株)	ロビーコンサートを中心とする社会に開かれた未来文化創造型メセナ活動
審査委員特別賞	キャノン(株)	「アートラボ」の企画・運営
メセナ育成賞	(株)毎日新聞社	『第54回日本音楽コンクール』(主催:毎日新聞社)日本放送協会の開創と長年にわたる同コンクールの運営
メセナ企画賞	(株)ヨークベニマル	絶版になった地域歴史書の復刻・発刊事業
メセナ国際賞	凸版印刷(株)	「欧米のポスター100」復刻事業
メセナ奨励賞	(株)海文堂書店	「アート・エイト・神戸(阪神大震災文化復興)」の実施
メセナ地域賞	(財)八十二文化財団	心の豊かさを求めて〜八十二文化財団10年のあゆみ〜
メセナ普及賞	大日本印刷(株)	「ギンザ・グラフィック・ギャラリー」10周年企画の実施

1995

メセナ大賞	TOA(株)	ジーベックホールを中心として行っている音文化啓蒙活動
審査委員特別賞	(財)京都服飾文化研究財団	「モードのジャポニスム〜キモノから生まれたゆとり的美〜」展の開催など
メセナ育成賞	(株)パルコ	「URBANART(アーバナート)」の開催
メセナ企画賞	三菱広報委員会	国際漢字年誌「三菱IMPRESSION-GALLERY〜アジアのアート・フェスティバル〜」の実施
メセナ国際賞	(財)大同生命国際文化基金	「アジアの現代文芸」プログラムの翻訳出版
メセナ奨励賞	広島信用金庫	「ひろしま平和音楽祭」「青少年のための音楽鑑賞教室」の開催
メセナ地域賞	稚内信用金庫	稚内市での札幌交響楽団定期公演の全面的支援など
メセナ普及賞	(財)三井海上文化財団	地域住民のためのコンサートの共同主催

1994

メセナ大賞	サントリー(株)	サントリーホールの運営と活動
審査委員特別賞	(株)タダノ	イースター島モアイ像修復活動
メセナ育成賞	(株)東急文化村	シアターコクーン戯曲賞の運営
メセナ企画賞	三和酒類(株)	美術・文学・建築等を含む文化科学研究・出版活動
メセナ国際賞	(財)日航財団	世界子どもハイク(俳句)コンテストの運営
メセナ奨励賞	(株)あさば旅館函翠閣	「修善寺芸術紀行」の実施
メセナ地域賞	カトーレック(株)	四国民家博物館の運営
メセナ普及賞	(財)日本生命財団	「博物館総合案内」書の出版

1993

メセナ大賞	セゾングループ	セゾン美術館の運営
メセナ特別賞	(財)トヨタ財団	「隣人をよく知ろう」プログラムの実施
	フィリップ モリス(株)	日本美術修復計画への支援
	(株)南日本放送	MBCユースオーケストラの運営
メセナ賞	大阪ガスグループ	扇町ミュージアムスクエアの運営
	(財)東芝国際交流財団	国内外の美術館、博物館などへの助成
	日本生命保険相互会社	30年にわたるニッセイ名作劇場の協賛と日生劇場の運営
	松下電器産業(株)	グループ座への支援
	(財)ロームミュージックファンデーション	音楽文化振興活動

1992

メセナ大賞	(株)すかいらく	(財)東京交響楽団の演奏活動支援
メセナ特別賞	(財)末永文化振興財団 びあ(株)	末永文化センターの運営 PFF'91(びあフィルムフェスティバル)の開催
メセナ賞	(財)ポーラ伝統文化振興財団 (株)紀伊國屋書店 シャチハタグループ セゾングループ 日本アイ・ビー・エム(株) (株)紅三	わが国の伝統文化の保存、伝承、普及、振興に関するメセナ活動 紀伊國屋ホールでの運営 ジャパン・アート・スカラシップの協賛 MUSIC TODAY '91の開催 IBMウェルフェア・コンサートの開催 ベニサン・スタジオ、ベニサン・ピットの運営

1991

メセナ大賞	林原グループ	国際芸術・文化振興奨学金制度の創設ほか
メセナ特別賞	(株)INAX コニカ(株) 新日本製鐵(株)	建築、現代美術等の展覧会開催、出版ほか 大英博物館日本ギャラリーの設立資金援助ほか 35年にわたる新日鉄コンサートの開催、音楽賞の創設
メセナ賞	岩谷産業(株) オムロン(株) セイコーエプソン(株) トヨタ自動車(株) モービル石油(株)	ふるさと交響楽シリーズなどのN響への協賛 クレアティヴィタリアの特別協賛ほか サイトウ・キネン・オーケストラの欧州公演協賛 アマチュアオーケストラの支援活動 モービル・ライブ・サウンズの提供

(社)企業メセナ協議会会員

正会員

- [株]アーバンコーポレイション
アール・ビー・エス証券会社 東京支店
[株]I&S BBDO
あいおい損害保険[株]
[株]アカデミー
[株]秋村組
朝倉不動産[株]
[株]アサツー ディ・ケイ
[株]朝日広告社
[株]朝日新聞社
アサヒビール[株]
朝日放送[株]
[株]アセット婦人画報社
味の素[株]
一般会・昭和電工グループ
[株]イトーヨーカ堂
[株]INAX
AIGカンパニース
エクソンモービル[有]
[株]エフエム東京
エルメス・ジャポン[株]
王子製紙[株]
大阪ガス[株]
オムロン[株]
[株]オンワード樺山
花王[株]
鹿島建設[株]
[株]カスミ
カトーレック[株]
関西電力[株]
キッコーマン[株]
キャノン[株]
九州電力[株]
[株]求龍堂
京セラ[株]
キリンビール[株]
[株]クレディセゾン
[株]講談社
[株]光文社
コスモ石油[株]
[株]産業経済新聞社
サントリー[株]
三洋電機[株]
三和酒類[株]
ジー・アイアール・コーポレーション[株]
[株]ジェイティービー
[株]資生堂
清水建設[株]
[株]集英社
- [株]主婦と生活社
[株]主婦の友社
[株]小学館
松竹[株]
[株]新潮社
新日本製鐵[株]
[株]水曜社
住友商事[株]
住友生命保険[相]
[株]西友
[株]世界文化社
積水化学工業[株]
セントラル警備保障[株]
ソニー[株]
[株]損害保険ジャパン
第一生命保険[相]
[株]大広
大正製薬[株]
大日本インキ化学工業[株]
大日本印刷[株]
ダイムラー・クライスラー
日本ホールディング[株]
[株]ダイヤモンド社
大陽日酸[株]
[株]大和証券グループ本社
武田薬品工業[株]
[株]竹中工務店
中部ガス[株]
TOA[株]
TBS[株]東京放送
[株]テレビ朝日
[株]テレビ東京
[株]電通
東急建設[株]
東京ガス[株]
東京急行電鉄[株]
東京テアトル[株]
東京電力[株]
[株]東京ドーム
[株]十勝毎日新聞社
鳥取ガス[株]
凸版印刷[株]
トヨタ自動車[株]
西日本旅客鉄道[株]
[株]ニチレイ
日産自動車[株]
ニッセイ同和損害保険[株]
[株]日本製紙グループ本社
日本電気[株]

準会員

[株] ニッポン放送
[株] 日本経済新聞社
日本生命保険[相]
日本たばこ産業[株]
野村證券[株]
バイオニア[株]
[株] 博報堂
[社] 林原共済会
[株] パルコ
びあ[株]
久光製菓[株]
[株] 日立製作所
フィリップ モリス ジャパン[株]
[株] フェリシモ
富士ゼロックス[株]
[株] フジタ
富士通[株]
[株] フジテレビジョン
[株] 文藝春秋
本田技研工業[株]
[株] 毎日新聞社
[株] マガジンハウス
[株] マザーズ
松下電器産業[株]
みずほインベスターズ証券[株]
[株] みずほフィナンシャルグループ
三井住友海上火災保険[株]
[株] 三井住友銀行
三井物産[株]
三井不動産[株]
[株] 三越
三菱地所[株]
三菱商事[株]
[株] みどり会
明治安田生命保険[相]
メルシャン[株]
[株] 山武
ヤマト運輸[株]
ヤマハ[株]
UFJニコス[株]
[株] 吉野工業所
[株] 読売広告社
読売新聞東京本社
[株] リクルート
リシュモン ジャパン[株]
LVJグループ[株]
ルイ・ヴィトン・ジャパンカンパニー
ローム[株]
[株] ワコールホールディングス

[特] アートネットワーク・ジャパン
EU-ジャパン フェスト日本委員会
石川県音楽文化協会
茨城県
エムアンドアイアートシステム[株]
[財] 大阪21世紀協会
[有] オリジナルアートギャラリー
神奈川県
[社] 企業メセナ群馬
京都商工会議所
京都橋大学文化政策研究センター
[財] 京都服飾文化研究財団
慶應義塾大学アート・センター
劇団四季
[財] 公益法人協会
[財] 埼玉県芸術文化振興財団
佐賀県企業メセナ協議会
[株] シアターワークショップ
[有] ジャパン・アーツ・リンク
昭和音楽大学
[財] 新国立劇場運営財団
[財] セゾン文化財団
[財] たましん地域文化財団
中央区文化・国際交流振興協会
[株] 東京国際フォーラム
東京都生活文化局文化振興部
[財] 東京都歴史文化財団
[株] トナカイ
中札内美術村
[株] ニッセイ基礎研究所
[社] 日本演奏連盟
[社] 日本芸能実演家団体協議会
[財] 日本交通文化協会
[財] 八十二文化財団
[株] フジカルチャープランニング
藤沢市
[財] 水戸市芸術振興財団
山口市
[財] 横浜市芸術文化振興財団

(2005年11月1日 | 50音順)

(社)企業メセナ協議会の活動紹介

社団法人企業メセナ協議会は、企業による芸術文化支援活動を啓発・奨励し、日本の芸術文化の向上・発展に寄与することを目的として、1990年に設立されました。企業のメセナ活動が推進される環境を整備すべく、さまざまな活動をおこなっています。

- ① **メセナ活動実態調査** —— 【全国の企業メセナ活動の実態を調査】
企業および企業財団を対象とする調査を毎年実施。その結果をオンラインデータベース「メセナビ」としてWEB上で公開するほか、「メセナレポート」を「メセナnote特別号」として発行します。
- ② **メセナ アワード** —— 【優れたメセナ活動を顕彰】
「メセナ大賞部門」「文化庁長官賞部門」において、全国から自薦・他薦で案件を公募し、特に優れたメセナ活動の功績を称えて表彰します。
- ③ **セミナー、シンポジウム** —— 【幅広い観点から諸問題を分析】
メセナや芸術文化を取り巻く諸問題をテーマに取り上げ、セミナーやシンポジウムを随時開催しています。
- ④ **機関誌** —— 【メセナや芸術文化活動の最新情報を掲載】
企業メセナをはじめ文化政策やアートマネジメントなど幅広い情報を盛り込んだ機関誌「メセナnote」を隔月で発行しています。
- ⑤ **助成認定** —— 【芸術文化活動への支援を税制面から促進】
当協議会は、文化庁より特定公益増進法人の認可を受けて、芸術文化への民間寄付を促進する「助成認定制度」を設けています。企業や個人が協議会経由で寄付をすれば、税制上の優遇措置を受けられます。
- ⑥ **メセナ・コーディネート** —— 【さまざまなプログラムをコーディネート】
メセナや芸術文化創造のインフラ整備に関する各種プログラムへの企画協力や、講師の派遣などをおこなっています。
- ⑦ **国際交流** —— 【世界のメセナ組織と交流】
世界各国の企業メセナ組織との交流に努め、情報交換や国際会議への参加、海外視察派遣や受け入れなどをおこなっています。
- ⑧ **情報ライブラリー** —— 【メセナに関する資料を公開】
企業メセナに関する書籍や資料を自由にご覧いただけるよう、ライブラリーを設けています(要予約)。

詳しくは協議会のホームページをご覧ください。

www.mecenat.or.jp



「メセナ アワード2006」の募集要項は、
2006年4月頃に発行する予定です。
詳細は企業メセナ協議会事務局まで
お問い合わせください。

メセナ アワード2005の運営ならびに
応募案件の調査・取材は、
企業メセナ協議会・大賞部会メンバーがおこないました。

大賞部会

部会長 若林 覚 [サントリー(株)]
メンバー 久野敦子 [(財)セゾン文化財団]
富田秀実 [ソニー(株)]
市川哲夫 [第一生命保険(相)]
勝呂 栄 [トヨタ自動車(株)]
菅沼比呂志[(株)リクルート]
朝子正三 [(株)ワコールホールディングス]

事務局 加藤恒夫 (専務理事)
角山紘一 (事務局長)
荻原康子
戸沢 愛

後援 文化庁

2005年11月25日 発行・社団法人 企業メセナ協議会



Association for Corporate Support of the Arts
社団法人 企業メセナ協議会

100-0005 東京都千代田区丸の内1-8-2
第一鉄鋼ビル1階
Tel : 03-3213-3397
Fax : 03-3215-6222
E-mail : mecenat@mecenat.or.jp

関西事務所

540-0032 大阪市中央区天満橋京町1-1
大阪キャッスルホテル4階
財団法人 大阪21世紀協会内
Tel & Fax : 06-6942-2040

www.mecenat.or.jp